

「消防学校ニュース」



年度後半戦、突入！編

平成 29 年 10 月 16 日発行

10月に入り、年度後半の教育訓練に突入しました。初任科第88期に加え、消防職員専科教育・特別教育も救助科第34期をはじめとして本格的に始まりました。季節の移り変わりとともに、上半期とは異なった教育訓練風景が展開していきます。



**初任教育
初任科
第88期入校**

10月2日(月)、初任科第88期39名の入校日です。誰もが希望と不安を抱きながら、緊張した面持ちで学校の門をくぐりました。

来年3月22日(木)までの半年間にわたる、かつて経験したことがないであろう厳しい訓練生活がいよいよ始まります。



入校受付



最初に初任科生を待っているのが入校受付、入寮受付です。一段と緊張感が高まります。

駆け足行進の足並みが揃っているか、制服の着こなしがしっかりできているか、大きな声が出ているかなどを受付の教官がチェックし、できていなければ“やり直し”、順番待ちの列の最後尾に戻ります。4月の消防職員採用から半年が経過していても、なかなか1回ではパスできません。

入寮受付





いよいよ

入校式



入校生の所属の消防長など多くの皆様の温かい眼差しが注がれる中、初任科第88期の入校式を執り行いました。

県内八つの消防本部(局)から入校した初任科第88期生39名は、強い覚悟の下で学校生活、教育訓練に臨んでくれるものと信じている。

既に消防の現場で半年間消防士として活動してきたが、本校での次の半年間は初心に戻り、広範な座学教育と厳しい実科訓練に励んでもらう。

スローガンは「七転び八起き」、言葉のとおり実践していくことが大切。

9月に現場へと巣立って行った第87期生の教育訓練期間は夏の猛暑との戦いであったが、第88期生は冬の厳しい寒さとの戦いになる。自身の安全管理、健康管理は基本の務めであることを常に意識すること。

努力すれば、その努力の大きさに相応しい結果がついてくる。学校、所属、家族がいつも見守っていることを忘れず、1日1日を大切に頑張してほしい。

学校長式辞



県危機管理部長祝辞



県消防長会会長祝辞



9月に修了した第87期初任科生と同様に、杉保 聡正 静岡県危機管理部長、青山 雅行 静岡県消防長会会長(静岡市消防局長)に御臨席を賜り、励ましの言葉をいただきました。

入校生代表宣誓

入校生を代表して、大畑 真登 (静岡市消防局)が、校訓・諸規則を守り、全力を挙げて勉学に努める旨を宣誓しました。



早速
訓練

座学では、「倫理」、「法学基礎・消防法」、「安全管理」など基礎教科を学習し、実科訓練では、訓練を受ける心構えから始まり、「訓練礼式」、「消防活動訓練」、「機器取扱訓練」などを身をもって学んでいきます。



速足行進、前へ進め



整列、右へならえ



初めての服装点検の様子。教官の厳しい、大きな声が校内に響き渡ります。

専科&特別教育(消防職員)本格的にスタート!!

救助科 第34期



既に現場で活躍する救助隊員が救助の技術を更に磨き、様々な知識を身につけます。どれだけ救助能力を高めることができるか、毎日が真剣勝負!

入校式
学校長挨拶



救助科第34期生43名は、本日10月4日から11月1日までの約1か月間、校外施設での多様な訓練を含む、非常に密度の濃い内容で構成された専科教育を受ける。

災害や事故の現場で活動する救助服のオレンジ色は、消防救助という崇高な任務を表す色として国民から大きな信頼と期待が寄せられている。

常に初任科生の手本となるべく、寮生活を送り、訓練に臨んで、多岐にわたり実り多きものとなるよう期待する。

↓ 低所救助訓練



↑ 多数傷病者発生時対応訓練



↓ 加圧排煙訓練



← NBC災害対応訓練
(駿河消防署)

← 雨模様の中
県消防防災航空隊と
航空救助訓練



ビデオ喉頭鏡講習 (第12回~第14回)



10月4日、5日、6日の3日間にわたり、第12回から第14回までのビデオ喉頭鏡講習を実施し、計83人の救急救命士の皆さんが受講しました。この講習によりビデオ喉頭鏡認定資格者への道が拓かれます。

ビデオ喉頭鏡は、気管挿管をビデオモニターで確認しながら実施できる装置で、心肺停止の傷病者に対する気管挿管の安全性・確実性を向上させます。

静岡県MC協議会の医師の皆さんや県内消防本部からの有資格の救急救命士の皆さんに講師を務めていただきました。



潜水士試験対策講習（第13回）

10月11日(水)、水難救助業務への従事予定者を対象に、1日だけの講習を実施しました。受講者は県内6消防本部からの20名。
水難救助業務には必要不可欠な潜水士免許が取得できるよう、関係法令や潜水業務に係る必要な知識を習得しました。



ドローンが消防学校にやってきた!



消防庁無償貸付資機材 (ドローン) 基礎研修会



本県を含む全国16県を対象に、本年度の消防庁事業であるドローン等資機材の無償貸付が実施され、他県に先行して10月3日、本県消防学校にドローン(実機1機、練習機3機)が納品され、翌4日には、消防庁委託事業として消防団員及び消防学校教官向け訓練(基礎研修会)が行われました。

研修会では、講義により、飛ぶ仕組み、操縦方法、ドローンに係る規制(航空法)などを、実技により、フライト準備、運行前点検、デモフライト(空撮、物資輸送、映像伝送等)、操縦訓練が実施されました。

研修受講者は、県内消防団員4名、消防学校教官6名、県内消防職員(団担当者)11名の計21名のほか、県消防保安課職員や県内消防職員の10名が見学しました。

当日は、静岡第一テレビ、朝日新聞、静岡新聞が取材に訪れ、マスコミの関心の高さもうかがえました。

今後、消防学校では、試行的に、本年度下半期に実施する消防団等の教育訓練においてドローンの仕組みや基礎的な操作等を取り入れていくとともに、来年度には十分な活用が図られるようカリキュラム等を具体的に検討していきます。



練習機(小型機)



実機(大型機)

【実機】回転翼6枚 飛行時間20分程度 雨天時飛行可
空撮用カメラ、GPSアシスト、自動飛行仕様

One Chot ワンチョット(ちょいネタ)コーナー

『ドクターイエロー』を御存知だろうか…? 御覧になったことはあるだろうか…? 正式名称は「新幹線電気軌道総合試験車」で、“新幹線のお医者さん”と呼ばれることもあり、線路や電気設備を“健康診断”するために走りながら検査をしている。運行は10日に1回程度、走行時刻も非公開とあって、鉄道ファンを中心に「見ると幸せになれる」など縁起物のような扱いをされている。

わが消防学校からは新幹線の車両が次から次へと通過する姿がよ〜く見える。そのような中、ドクターイエロー運行の気配を感じた教官の一人が昼休みに激写した。

…幸せがやってきそう…!?



タイトルバックの指差しの意味わかったかな? ...

